

# 新宿商人

vol.16

[ 2020年9月号 ]

発行:新宿区文化観光産業部  
産業振興課

☎03-3344-0701

FAX:03-3344-0221

✉shoten-rece

@city.shinjuku.lg.jp

新宿区商店会情報誌

「 しんじゅくあきんど 」



特集

今だからこそ がんばる!

## 商店会の新たなチャレンジ

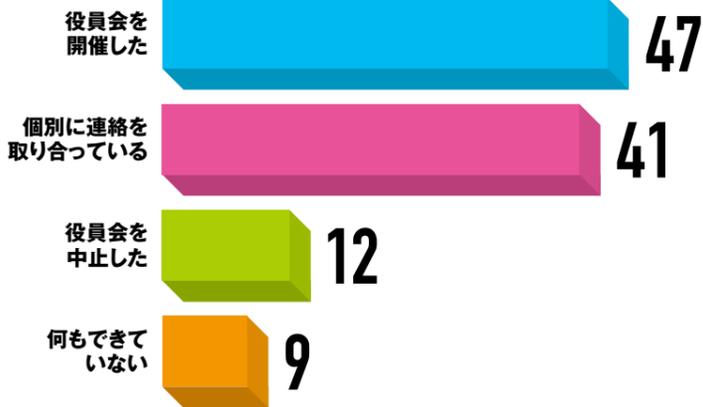
# 区内商店会に聞きました 商店会と コロナのいま

コロナ禍において、商店会や個店は  
どのような取組みを行っているのだろうか？  
区内104商店会の実情に迫った。

(調査結果は2020年6月時点。複数回答可。単位：商店会)

## Question 1

### 組織活動の現況は？



コロナ禍においても、回答があった商店会のうち半数以上が役員会を開催。総会を书面決議したり、電話・メール・ファックスのほか、Zoomを活用するなど新しい試みでコミュニケーションをとっている商店会も複数あった。

## Question 2

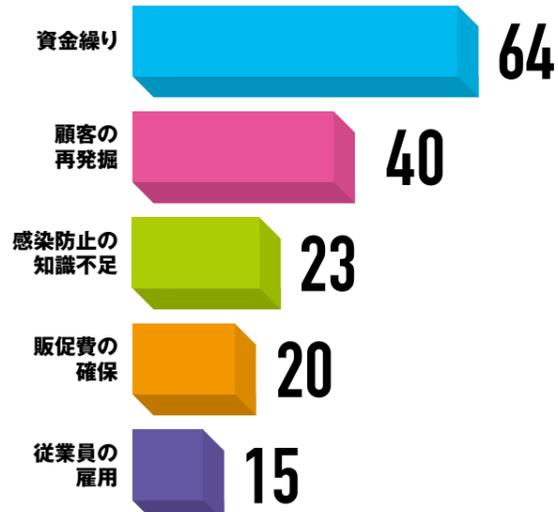
### コロナ収束後の商店会の目標は？



「未定」の回答が多かったものの、自由記入欄には「オンライン集客のための施策」「新しい生活様式への対応策」「安全性の訴求活動」などを行うといったコロナを意識した声が多く見られた。なかには他商店会との連携を志すところも。

## Question 3

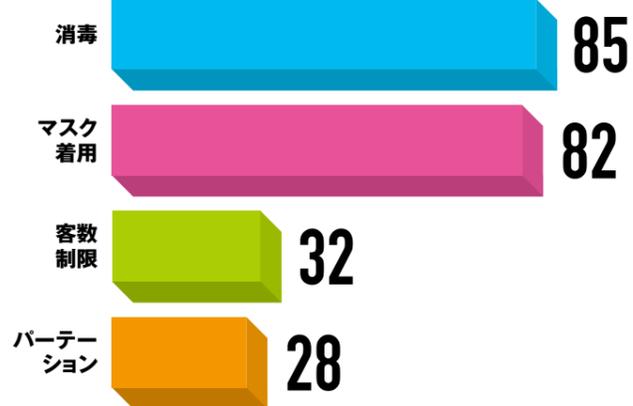
### 営業を続けていく上で、必要なことや困っていることは？



一番の課題になっているのは「資金繰り」。次に「顧客の再発掘」とコロナの影響を感じさせる結果に。自由記入欄にも「土日の顧客が戻らない」「IT人材の確保が必要」など、切実な声があった。一方で、「商店会でできるだけ会員を支援したい」という共助の声も聞かれた。

## Question 4

### コロナ対策として対応・注意していることは？



店では「消毒」「マスク着用」を基本とし、他に「椅子・テーブルの削減」「入店時の検温」を実施。また商店会では、消毒液の斡旋・配布を行うなど危機意識の高さが伺える。

# Contents

【しんじゅくあきんど】  
新宿商人  
vol.16

## 【特集】

今だからこそ がんばる!

# 商店会の 新たなチャレンジ

新型コロナウイルス感染症の拡がりにより、商店街は大きなダメージを受けています。しかし、そんな危機的な状況でも、前を向いて新しい取組みを行っている商店会があります。今号では、前向きな事例の紹介を通して、新しい商店会活動を考えます。あわせて、活用できる補助金制度もご紹介。ぜひ、これからの商店会活動にご活用ください。

- 01 区内商店会に聞きました  
商店会とコロナのいま
- 02 個店も学生も利用者も！  
三方良しのデリバリーシステム [ Delivery ]  
早稲田商店会・大隈通り商店会
- 05 いまだからこそ意義がある！  
感染対策徹底でイベント開催 [ Event ]  
左門町振興会
- 06 オリジナルポスターで  
商店街内外へ啓発！ [ PR ]  
戸山ハイツ西通り商店会
- 07 全国の商店会好事例
- 08 新宿商人物語「つなぐ」

裏表紙 Headlines [ 知っておきたい、今秋のトピックス ]

## Topics



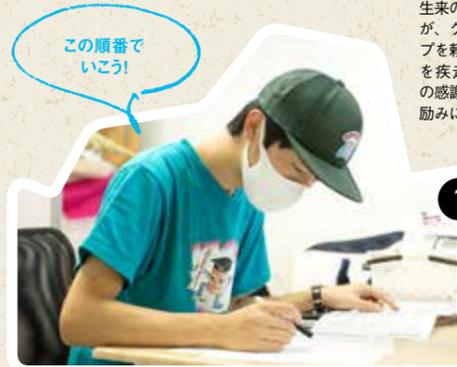
区の小規模商店会補助金を活用し、14商店会がオリジナルの啓発物（ポスター、チラシ、マスクケース他）の作成などを通じて、3密対策に取り組んでいます。（9月10日時点）。停滞していた商店会活動を、再び活性化させるきっかけにも。ぜひ補助金をご活用ください。

## 「わせくまデリ」の流れを 密着取材!

デリバリー  
するのはこの人!  
教育学部3年  
しろくすはるき  
白水開さん

生来の方向音痴だが、Googleマップを頼りに早稲田エリアを疾走中。「利用者からの感謝の言葉が何よりの励みになります!」

道に詳しく  
なりました!



注文を確認し、行き先と料金を確認!

1

LINEで  
受付!

こんにちは~  
わせくまデリです!



お店メニューを受け取り……

2

おまかせしました!

ありがとう  
ございます!



お客様へお届け

3

加盟店の  
食券が  
もらえる!



事務所で食券と報酬をゲット!

ペダルを漕いで  
地域に恩返し!



# 個店も学生も利用者も! 三方良しの デリバリーシステム

Delivery  
【デリバリー】

Case  
早稲田商店会・大隈通り商店会



コロナ危機を受け、独自のフードデリバリーシステムを構築した早稲田商店会・大隈通り商店会。これまで街に支えられてきた若者たちが恩返しとばかりに、自転車を走らせて商店会と地域住民をつないでいる。

デリバリーで  
早稲田を元気に!



早稲田商店会・大隈通り商店会  
副会長  
佐藤靖子さん  
複数の商店会の役職を掛け持ちするほか、キュート早稲田整骨院・鍼灸治療院のオーナーでもある。「わせくまデリの参加店はさらに増える予定です!」

## 商店会が音頭をとり デリバリーを実施

コロナ禍において利用者が急増し、注目を集めるフードデリバリー。早稲田商店会・大隈通り商店会では、大手の配達代行に頼ることなく、自らシステムを確立して近隣エリアへのデリバリーを実施している。

商店会主導のデリバリーを考え始めたのは、緊急事態宣言が発令された4月上旬。すでに界限の飲食店はテイクアウトを始めており、次の一手としてデリバリーに目を向け、コストのからない配達方法を模索していた。一方、早稲田の街では学生の姿が見られなくなり、急速に活気が失われていく最中だった。

「早稲田大学から学生に向けて、不要な外出を控えるようにというお達しが出ていたんです。私は以前から商店会活動を通じて彼らと交流があ

## 3者（店と学生と利用者）の思いが噛み合う

佐藤さんをはじめとする商店会のメンバーに同調して、配達を担当する学生たちも奮闘している。8月の時点で13名がスタッフ登録をしており、一日平均10名が稼働。シフトはLINEの機能を利用している。スタッフの一人である白水開さんは、早大の3年生。所属する部活が地域応援ネットワークに入っており、「わせくまデリ」の存在を知るとす

ぐにスタッフ登録を行い、5月から働き始めた。「早稲田の飲食店にはいつもお世話になっているので、コロナで大変な今こそ恩返しをしたいなど。実際にデリバリーを始めてみたら待遇が良すぎて、あまり貢献できていない感じがしないですけれどね（笑）。配達料だけでもありがたいのに食券までいただけ、本当に助かっています」

そう照れくさそうに笑う白水さん。常連の利用者にすっかり顔を覚えられ、やりがいを持って配達をしているという。地域に貢献したいという思いは、同じく3年生で「早稲田祭2020」運営スタッフの副代表を務めている箕田和記さんも同様だ。

「たので、旧知の学生に『最近どうしてる?』と声をかけたら、『授業はオンラインで、リアルに人と話したのは数週間ぶりです』って言われて、みんなまじめに自粛していたけど、孤独感に苛まれていた。そこでデリバリーの話を数人に持ちかけたら、やりたいという返事をもらえました」

で早大生はボランティア活動の禁止を言い渡されていたため、配達を任せる場合は相応のアルバイト代を支払う必要があった。佐藤さんは「デリバリーに参加する飲食店のメンバーと話し合い、1件につき300円の配達料を学生に支払うことに決めたが、『この金額では申し訳ない』という気持ちも残ったという」

「そこで、お礼として学生にご飯を食べさせたいなって。飲食店のみなさんに相談すると、無料は難しいけれど通常よりも安い特別価格で提供してあげようという話になり、商店会が会員店から食券を買い上げ、学生に提供することにしました。食券は、学生が昼夜どちらか1回稼働することによって1枚渡しています。学生へのお礼だからってみなさん快く応じてくれました」



アルコール消毒して  
狙うは一等!

こんな  
コロナ対策  
しています



抽選箱も  
間口を広く

上蓋を開いて密封状態を崩さず、中の福引券が見えるように改良した抽選箱。衛生面から「箱の中に手を入れるのは抵抗がある」という人にも好評だった



消毒もしっかり

新型コロナウイルス対策として、店内にアルコール除菌スプレーを設置。買い物をお客さんへ消毒を呼び掛けている。シンプルながら効果のある方法だ



電子マネー決済を導入

現金の手渡しによる感染リスクを低減するため、奥脇副会長らの助言を受けた兵庫屋では電子マネー一端を導入。今では約半数のお客さんが利用している

Event  
【イベント】

# いまだからこそ 意義がある! 感染対策徹底で イベント開催

Case  
左門町振興会

「早稲田祭は日本一の学園祭と呼ばれていますが、その理由は、地域の方々にバックアップしていただき、街全体で盛り上がるからです。早大生として毎年恩恵を受けているのに、自粛期間で時間の都合が付きやすかったこともあり、スタッフとして参加しようと思いませんでした」

学生は配達の前後に待機スペースに集い、配達先の確認をしたり、配達料を受け取ったりする。この待機所は学生同士のコミュニケーションの場としても機能しており、これまで面識のなかった学生同士が会話を交わしている。コロナ禍で大学にほとんど通えず友達を作ることの叶わない1年生も、先輩達との交流で心の安寧を得ているという。

現在「わせくまデリ」に参加する14軒の個店の面々も、学生の思いをしっかりと受け止めている。この地で一世に続く老舗の蕎麦店「金城庵」の齋藤真人さんは、「学生さんの街への思いが嬉しい」と目を細める。

「西早稲田は大学があつて成り立つ街で、うちのお客さんも大学関係が7割。コロナ以降は客足も途絶えがちでしたが、そんな時分に協力してくれる気持ちがあります。昔から築いてきた関係性で学生さんへの信頼感があるので、安心して配達を任せられますね。利用者の方たちからも早稲田の飲食店を応援したいという声をいただくこともあり、気持ち

「早稲田祭は日本一の学園祭と呼ばれていますが、その理由は、地域の方々にバックアップしていただき、街全体で盛り上がるからです。早大生として毎年恩恵を受けているのに、自粛期間で時間の都合が付きやすかったこともあり、スタッフとして参加しようと思いませんでした」

学生は配達の前後に待機スペースに集い、配達先の確認をしたり、配達料を受け取ったりする。この待機所は学生同士のコミュニケーションの場としても機能しており、これまで面識のなかった学生同士が会話を交わしている。コロナ禍で大学にほとんど通えず友達を作ることの叶わない1年生も、先輩達との交流で心の安寧を得ているという。

現在「わせくまデリ」に参加する14軒の個店の面々も、学生の思いをしっかりと受け止めている。この地で一世に続く老舗の蕎麦店「金城庵」の齋藤真人さんは、「学生さんの街への思いが嬉しい」と目を細める。

「西早稲田は大学があつて成り立つ街で、うちのお客さんも大学関係が7割。コロナ以降は客足も途絶えがちでしたが、そんな時分に協力してくれる気持ちがあります。昔から築いてきた関係性で学生さんへの信頼感があるので、安心して配達を任せられますね。利用者の方たちからも早稲田の飲食店を応援したいという声をいただくこともあり、気持ち

## 参加店主たちの声



金城庵  
齋藤真人さん

学生さんたちのお店を手伝いたい、地域を盛り上げたいという気持ちが嬉しいですね。食券?多少儲けは少なくなりますが全然気にしません。むしろうちのカツ丼でお腹を満たしてほしいです!



キッチンミキ  
山内康行さん

「わせくまデリ」に参加してから、少し離れたエリアのお客さんにも当店の存在を知ってもらうようになり、ありがたく思っています。食券サービスは、早大生のみなさんに対する僕の感謝の気持ちです。

西早稲田地区への  
学生の気持ちに感謝

「わせくまデリ」の影響で  
店の知名度がアップ

地域に感謝を伝える  
夏恒例のお中元セール

夏といえばイベントが目白押しシーズンだが、今年は多くの商店街でイベントの中止が相次いだ。そんな環境下で左門町振興会では毎年7月下旬に行ってきた「お中元セール」を例年通り実施した。

「こんな時だからこそ、「お中元セール」でお客様に感謝の気持ちを伝えよう、と。商店会の他のイベントも中止になって、地域の人たちの元気にならなっているように見えたので、人が密集する可能性の少ないイベントくらいはやらうじゃないか、という話になりました」

そう語るのには、商店会の会長で老舗精肉店「兵庫屋」の勝川行雄さんが、7月20日から29日までの期間中は、800円のお買い上げごとに福引券を1枚配布。当選者には、山梨産の桃や黒毛和牛のサーロインステーキといった豪華な賞品を用意した。

もちろん、イベント開催は入念な感染防止対策があつてこそ。区の「おもてなし店舗支援事業」の補助金を活用し、飛沫対策のためのビニールカーテンやアルコール消毒液などを店内に設置。床にはレジ前に並ぶお客さんにソーシャルディスタンスを保ってもらうための目安のテープを貼るなど、万全の対策を講じた。

商店会の副会長である奥脇嘉人さんも、自身が経営する「セブンイレブン左門町店」において、感染リスクに留意しつつ福引を実施。

「街の人たちが皆様に暗い顔をしていたので、お中元セールをやる価値はあると思いました。地域に貢献できたなら何よりです」

正しく怖がり、必要以上に恐れず、感染防止対策を徹底して実施した「お中元セール」。待つてました!というお客さんの声も聞かれ、結果は大成功だった。

「わせくまデリ」はしばらく続けていきたいですね」

山内さんによると、早稲田大学周辺商店連合会に所属するほかの商店会からも「うちも参加したい」という声が届いているという。また、飲食店以外の小売店にも「わせくまデリ」を活用してもらえないかというアイデアもあるようだ。佐藤さんも、「世の中の情勢や早稲田大学の授業形態の変化など不透明な部分もありますが、できる範囲で規模を拡大して、長く続けていくのが目標です」と、展望を語る。

個店、学生、利用者を結ぶ三方良しのデリバリーシステム。早稲田の地に実った信頼関係という名の稲穂は、コロナ禍の現在において収穫され、何より価値のある蓄えとして人々の心の空腹も満たしている。

「わせくまデリ」はしばらく続けていきたいですね」

山内さんによると、早稲田大学周辺商店連合会に所属するほかの商店会からも「うちも参加したい」という声が届いているという。また、飲食店以外の小売店にも「わせくまデリ」を活用してもらえないかというアイデアもあるようだ。佐藤さんも、「世の中の情勢や早稲田大学の授業形態の変化など不透明な部分もありますが、できる範囲で規模を拡大して、長く続けていくのが目標です」と、展望を語る。

個店、学生、利用者を結ぶ三方良しのデリバリーシステム。早稲田の地に実った信頼関係という名の稲穂は、コロナ禍の現在において収穫され、何より価値のある蓄えとして人々の心の空腹も満たしている。

Support

この事業に、この補助金

## 店舗の感染拡大防止対策や 新業態への挑戦を支援!

おもてなし店舗支援事業  
(感染症拡大防止対策・業態転換事業)

新宿区

【条件】  
区内で飲食業・小売業・サービス業のいずれかの店舗を営み、引き続き5年以上営業する意思のある中小企業者・個人事業主

【詳細確認・お問い合わせ】

03-3344-0701

新宿区文化観光産業部産業振興課  
平日8:30~17:00

【申請期間】令和3年1月31日まで  
※補助対象期間は令和2年4月7日から12月31日までの取り組み

くわしくは  
こちらを  
チェック!



Support

この事業に、この補助金

## 加盟店の売上拡大につながる 取り組みを支援!

商店会共同販促支援事業

新宿区

最大  
100万円  
補助  
(補助率10/10)

【条件】  
区内の商店会・商店街振興組合

【申請期間】  
令和2年12月31日まで  
※補助対象は令和2年4月7日から令和3年3月31日までの取り組み

03-3344-0701

新宿区文化観光産業部産業振興課  
平日8:30~17:00

くわしくは  
こちらを  
チェック!



早稲田・大隈通り商店会では、補助金を活用してデリバリー事業を実施。参加店のメニューが掲載されたチラシの制作費なども対象となる

自分たちもできるかも？

# 全国の商店会好事例

Case  
【ケース】

ここでは、全国の商店会の事例をご紹介します。  
活用できる補助金とあわせて  
ぜひ実際のアクションの  
ヒントにしてみてください。

地域の人々も飲食店を応援したいという思いが強く、インスタグラムでは「#崖っぷち弁当」のハッシュタグで投稿が相次いだ。こうしてSNSを上手に活用している点も、宇治橋通り商店街の参考になる部分だ



## 共通パッケージでお弁当を一斉販売

宇治橋通り商店街振興組合  
【京都府宇治市】

普段は観光客で賑わう宇治橋通り商店街。コロナ禍で人出が大幅に減り、特に飲食店は大きなダメージを受けた。そこで編み出した秘策が、各飲食店のお弁当を共同パッケージで包み提供する「崖っぷち弁当」。窮状を表したネーミングや、商店街一体の取組みという点から大反響があり、SNS

などでも人気に。さらに地元タクシー会社との協業やスタンプラリーなどさまざまな企画に展開し、組織の結束も強まるなど、多くの成果を生んだ。



Support

商店会共同販促支援事業を活用できます！

詳しくは

P 04



詳しくは

おもてなし店舗支援事業（感染症拡大防止対策・業態転換事業）を活用できます！ P 05

Support

飛沫防止用のビニールカーテンを導入してみたけれど、どこかお客さんと壁ができてしまったように感じる……そんな方には佐賀県の本町商店街の取組みが参考になる。ここでは、アーティストが店舗のビニールカーテンにペインティング。それぞれの店の個性に応じたカラフルでポップなペイントは、雰囲気を明るくするだけでなく、お客さんとのコミュニケーションのきっかけにも。地域の学生やお子さんがペイントするなど、やり方を工夫すればどの商店街でも実現できる。ぜひ、芸術の秋にトライしてみてください？

本町商店街「佐賀県有田町」

## ビニールカーテンをアートで彩る



ペインティングを担当したのはデザイナーや有田焼の絵付け師ら。観光案内所や町内飲食店、衣料品店で腕を振るった。このアイデアは全国の店々に広がっている



街路灯に掲げられた啓発用フラッグ。「対策実施中」と書かれた文字の下に、マスク、手洗い、消毒、換気を表現したポップなイラストが並ぶ

店舗も来街者も安全に  
ポスターで注意喚起

のんびりとした雰囲気の商店街を歩いていると、ある店舗の前でポスターが目にとまった。白地に「感染対策実施中」と書かれたスカイプルーの文字。「手の消毒」や「マスク着用」などを表現したわかりやすいイラストは、商店会における感染対策の取組みを伝えると同時に、見る人への注意喚起の役割も果たしている。

このポスターが貼られているのは、

明治通りから一本東側へ入った場所に位置する戸山ハイツ西通り商店会。平屋の集合住宅から鉄筋コンクリートの高層住宅に建て替えられた1973年に発足し、長年にわたって戸山ハイツの住人の生活を支えてきた。

そんな歴史ある商店会にも、新型コロナウイルスの影響が押し寄せた。各店の客足が遠のいたことに加え、毎年恒例の「中元大売り出し」の中止も決定。そこでビルメンテナンス会社を営む商店会長の平井昇さんは、商店街における感染リスクの低減を

目指し、啓発ポスターの制作および掲示を思いついた。

「幸いにも身近に仕事を依頼できるデザイナーがいたので、スピードで制作できました。店舗の人たちに意識を高めてほしいのはもちろん、商店会を訪れるお客さんにも感染防止のための注意を促すことを狙っています」

このポスターと街路灯に取り付けた別デザインのフラッグは、区の「小規模商店会新型コロナウイルス感染症拡大防止支援事業」の補助金を活用し制作した。

「区の職員から『こういう補助金がありますよ』と説明されて、自己負担なしでOKということで、じゃあ申請してみようかと。総事業費の2割までを消耗品の費用に充てられるので、各店に消毒スプレーを配ることもでき、ありがたかったです」

平井さんは、これまで持ち前の責任感とリーダーシップを持って商店会の活動を牽引してきた。コロナ禍においてもその姿は変わらず、商店会のために汗を流している。

「団地も商店会も高齢者が中心なので、これからの感染防止対策に力を注いでいくつもりです」

独自に発信を行うことで、利用者には「この商店街は本気だ」と映る。ちょっとした手間こそが、実は大きな信頼へとつながっていくのだ。

Support

この事業に、この補助金

## 商店会の感染拡大防止に向けた取り組みを支援!

まずは都にご申請を!

**小規模商店会新型コロナウイルス感染症拡大防止支援事業** **新宿区**

【対象】  
加盟店舗数が100店舗未満で、東京都政策課題対応型商店街事業（新型コロナウイルス感染症緊急対策型）の交付決定を受けていない区内商店会または商店街振興組合

【申請期間】  
令和2年12月28日まで  
※補助対象は令和2年4月7日から令和3年3月31日までの取り組み

【詳細確認・お問い合わせ】  
03-3344-0701  
新宿区文化観光産業部産業振興課  
平日8:30~17:00

最大 50万円補助 (補助率 10/10)

くわしくはこちらをチェック!

**感染拡大防止ガイドライン対応型商店街特別支援事業** **東京都・新宿区**

【対象】  
感染拡大防止ガイドライン等に基づく取り組みを実施する区内の商店会または商店街振興組合

【申請期間】  
東京都：令和2年10月30日まで  
※補助対象は令和2年9月1日から12月31日までの取り組み

【詳細確認・お問い合わせ】  
03-5320-4787  
東京都産業労働局商工部地域産業振興課  
平日9:00~17:00

都・区併せて最大 55万円補助 (補助率 10/10)

くわしくはこちらをチェック!

# オリジナルポスターで商店街内外へ啓発!

戸山ハイツ西通り商店会

PR  
【PR】



戸山ハイツ西通り商店会会長 平井昇さん

独自の発信に意味がある!

# つなぐ

## 余丁町商店会 バイシクルショップ ミヤザキ

街の自転車屋さんかくあるべし。  
創業百年を目前に控える老舗は、  
3代目夫婦を4代目の兄弟が  
しっかりと支えている。  
一家4人の商人物語に、  
じっくりと耳を傾けてみた。



長男の伸仁さんが店長を務める「Bicycle shop ミヤザキ2号店」。スタイリッシュな雰囲気と、本店同様の気持ちのこもった接客で、伸仁さんならではの店作りが行われている



### 常に前向きに、明るくあれ 受け継がれる輪業魂

「空気入れ、貸してください」

店先から声がかかると、志田家の人びとは一斉に立ち上がり、我先にと客人のもとへ駆けつけた。はい、どうぞ。こんにちは、あいにくの天気ですね。張りのある声が響く店内は、みるみる活気づいていく。バイシクルショップミヤザキの日常風景だ。

創業は1925年。大正から令和へと元号を3度過ぎ、誠実に堅実に輪業を営んできた。

「父から、『何年か外で飯を食ってこい』と言われて、自動車メーカーに就職したんです。一通りの

社会経験を積み、10年目で区切りをつけて家業を継ぎました」

そう語る志田清司さんは、同店の3代目。その清司さんの背中を見ながら、中学生の頃から店の手伝いをしてきたのが、息子の伸仁さんと朗仁さんだ。

「継いでほしいと言われたことはありませんでしたが、いつか継ぐのかもしれないという意識はあった。いくつかの職業を経験したのちに、自然とこの商売に気持ちが傾いていきました」

そう伸仁さんは経緯を語る。一方で、弟である朗仁さんは輪業一筋。こつこつ働き仕事への自信を深めてきた。

かくして母親の恵さんも含め4

人での運営体制に。掲げる理念は「顔の見える商い」。現代においてもオンライン販売をせず、対面販売を重視している。

「頭が古いから、しゃべったこともない人からポイント注文が入って、自分の口座にお金が入るといふ流れについていけないんです」

そういつて清司さんは苦笑いするが、朗仁さんも、「自転車は人の命を乗せるもの。対面して調整してからお渡しするスタイルは変わらずに守っていきたくです」と、

「社是」の継承に想いを込める。昨夏、本店より徒歩10分の場所に2号店がオープンした。現在、伸仁さんは2号店、朗仁さんは本店を担当。清司さんは将来的に、

兄弟それぞれに1店舗ずつを任せたいと考えている。

「長男は仕事が丁寧だけど手が遅い。次男坊は手先が器用だけど、たまに手を抜くんのだ」

清司さんは、そう江戸っ子らしく辛口で批評しつつ「でも、二人とも接客は上手だよ」と照れながら話す。伸仁さん曰く、「母が接客に厳しいんです」。

両親の教えを受け継ぐ伸仁さんと朗仁さん。「自分たちの代で家業をつぶせない」と、プレッシャーに感じることもある。そんな二人に清司さんは、「間違えることもある。それでも、常に前を向いてほしい」と、人生の先輩としてエールを送るのだった。

家族総出の明るく親切な接客。代々同店を使っているお客さんも多く、「安いところは他にもある。だけど、ここには安心感がありますね」と笑顔を見せる

### バイシクルショップ ミヤザキ

新宿区余丁町8-2  
都営大江戸線若松河田駅河田口  
より徒歩5分  
8:30~18:30  
日曜定休(祝日営業)



# Headlines [ 知っておきたい、今秋のトピックス ]

## 補助金

Support 1

最大  
**10万円**  
補助  
(補助率10/10)

事業再興に向けた事業計画の策定や、各種補助金・給付金等の申請にあたって、**専門家の支援を受けた中小事業者・個人事業主**

### 新宿区専門家活用支援事業

新宿区

[ 補助上限額 ]

- 10万円
- 各種補助金・補給金等の支援を受けた際の費用は1件につき24,000円まで

[ 申請期間 (郵送のみ) ]

- 令和3年1月31日(日)まで
- ※補助対象は令和2年7月1日(水)から12月31日(木)までの取り組み

[ 詳細確認・お問い合わせ ]

**03-3344-0701**

新宿区文化観光産業部産業振興課  
平日8:30~17:00



[ ホームページ ]

Support 2

最大  
**37万5000円**  
補助  
個人事業主の場合は  
最大18万7500円

**国の家賃支援給付金の給付決定を受けた中小事業者・個人事業主**

### 東京都家賃等支援給付金

東京都

[ 手続き ]

- 必要書類を準備し、オンライン・郵送にて申請

[ 申請期間 ]

- 令和3年2月15日(月)まで

[ 詳細確認・お問い合わせ ]

**03-6626-3300**

東京都家賃等支援給付金コールセンター  
全日9:00-19:00  
(11月以降は土日祝日・年末年始除く)



[ ホームページ ]

## 感染拡大防止対策

**感染防止徹底宣言ステッカーを掲示しましょう。**

「東京都感染拡大防止ガイドライン」などをもとに感染拡大防止対策を行い、店舗・事業所を登録することで、「感染防止徹底宣言ステッカー」を取得することができます。ステッカーを店舗などに掲示することで、安心して利用できる施設であることをお知らせすることができます。

[ 手続き ]

- ガイドラインの確認・対策の実施
- 専用フォームに必要事項を入力し、「感染防止徹底宣言ステッカー」をオンラインで取得 ※郵送手続きも可能

[ 詳細確認・お問い合わせ ]

**03-5388-0567**

東京都ステッカー申請・感染拡大防止協力金相談センター  
全日9:00-19:00

### 感染防止徹底宣言



[ ホームページ ]

### 感染拡大防止に向けた基本対策

#### ソーシャルディスタンス



入店時、店内においても人と人との間隔(できるだけ2m)を開けましょう

#### マスク着用



お客様にマスク着用の徹底を周知

#### 検温



非接触型機器などでお客様を検温し、発熱者の入店を制限

#### 消毒



入口や店内各所に消毒備品などを設置し、手指消毒を徹底

#### 換気



扉や窓などを開けた上で、扇風機やサーキュレーターなどを外部に向けて使用するなど、定期的な換気を実施

## 情報発信

無料でテイクアウト&デリバリー情報を発信中!

## 新宿ルーペ

新宿区商店会連合会が運営する、区内の店舗・商店会と顧客をつなぐSNSサイト「新宿ルーペ」では、区内でテイクアウトやデリバリーを行っている飲食店の情報を随時発信しています。

[ 詳細確認・お問い合わせ ]

**03-3344-3130**

新宿区商店会連合会  
平日10:00~16:00



[ ホームページ ]